



第66号

大津町 議会だより

平成25年11月1日

9月定例会 もくじ

9月定例会総括	2
委員会レポート	4
臨時議会	10
陳情・議決	11
「町政を問う」一般質問 (11人)	12～22
研修報告	
傍聴者の声	23



9月定例会

(歳入)

平成25年度一般会計補正予算(第3号)

既定の歳入、歳出に、それぞれ6億3171万円を追加し予算の総額を歳入、歳出に111億8886万円とする。

歳入の主な内訳は地方交付税の増、1億9856万円の増額により14億9856万円の補正するものです。これは普通交付税の確定によるものです。

(歳出)
○財政調整等基金費に5億円積立るもので24年度の繰越金の確定に伴い繰越金の2分の1を下らない金額を積立てるものです。

○道路新設改良費6637万円を計上、3億2385万円とするもので公共財産購入費として補正したものです。

9月定例会を6日から19日まで、14日間の会期で開きました。25年度一般会計、各特別会計補正予算、条例制定、改正と24年度決算認定の20議案について各常任委員会に付託し現地調査と審議を4日間行い全員賛成で可決しました。

また、最終本会議に追加議案として一般会計補正(4号)と①運動公園太陽光発電設置工事請負契約締結、②防災無線個別受信機の購入、③生涯学習センター太陽光発電設備設置工事請負契約の締結、④大津町固定資産評価委員選任につき同意を求めること、の4議案が上程され一部を賛成多数で可決しました。なお、陳情第1号は不採択としました。一般質問では11名の議員が町政全般にわたって質問を行いました。(12ページから紹介します。)

子ども、子育て関連3法

大津町子ども・子育て会議条例の制定について1、趣旨 子どもの教育・保育・子育て支援を総合的に進める新しい仕組みとして、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が公布されました。そのなかで、子ども・子育て支援事業計画

の策定等への意見を聴くための審議会その他の合議制の機関を置くように努めることとされており、「大津町子ども・子育て会議」を設置するものです。

子育て支援に関する事業に従事する者、子ども・子育て支援に関する関係団体の推薦を受けた者及びその他、町長が必要と認める事項に関する者。

任期 3年間
住所 大津町室
氏名 杉水英治
職業 司法書士

9月19日本会議において固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて同意可決しました。



同意した人事(敬称略)
固定資産評価審査委員会委員

将来を担う子どもたち



子ども・子育て関連3法とは

「子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正法」の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律

(目的)

○質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、○保育の量的拡大・確保・教育・保育の質的な改善、○地域の子ども・子育て支援の充実。

委員は子どもの保護者、子ども・子育てに関し学識経験のある者、子ども

24年度会計決算額

(単位、千円)

項目	歳入	歳出
一般会計	12,166,889	11,540,106
国民健康保険	3,122,802	2,969,878
大津町外4ヶ市町村共有財産管理処分事務受託	3,475	1,525
公共下水道	1,290,661	1,257,385
介護保険	2,117,590	2,036,332
農業集落排水	195,364	186,981
後期高齢者医療	256,222	254,564
工業用水道事業会計	66,327	38,667

24年度会計決算認定にあたり、3常任委員会付託事項につき審査をしました。24年度一般会計歳入総額は121億6689万円で歳出が115億4011万円で歳入から歳出を引くと6億2678万円の黒字となります。23年度歳入133億8000万円に比べると12億1311万円の減

平成24年度決算認定

基金

区分	決算年度末現在高(円)
財政調整基金	2,434,901,997
土地開発基金	379,250,882
減価基金	316,087,537
社会福祉振興基金	200,000,000
中山間ふるさと水と土保全基金	10,945,692
公共施設整備基金	559,800,470
学校教育施設整備基金	10,483,053
大津町工場等振興奨励基金	162,160,014
計	4,073,629,645

で率にして9・9%の減となっています。歳出決算については115億4011万円で23年度129億173万円の比へて13億6162万円、率にして10・6%の減となりました。歳入総額から歳出総額を差引くと6億2678万円、黒字となりましたが翌年度に繰越額(繰越免許繰越額)1億1657万円を差引いた実質収支は、当該年度純剰余金です。5億1021万円が純剰余額となります。

自主財源は歳入全体の51・4%当り62億4822万円となりました。依存財源は全体の48・6%、59億1867万円となりました。

それでも、基金(貯金)が40億7363万円ありますので当面の財政運営には支障はありません。一方、借金にあたる地方債残高は122億600万円で前年度に比べ3億33百万円程の増額となっています。

その他、国民健康保険や下水道など特別会計を審査し、認定することに決定しました。

【決算審査の意義】

① 予算が適正に執行されているのか。

② 各種資料に基づいて、その行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価する。

③ 審査の結果を後年度の予算編成や行政執行に生かす。

町税、主な財源の推移

(単位：千円)

	町民税	(内法人町民税)	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	入湯税	計
H16年度	2,787,814	2,018,620	2,019,459	55,400	220,070	—	5,082,745
H17年度	2,697,905	1,873,752	2,076,629	57,739	220,119	—	5,052,393
H18年度	3,303,945	2,397,058	2,006,810	58,978	233,485	733	5,603,953
H19年度	3,839,747	2,643,296	2,099,679	62,823	248,263	8,332	6,258,846
H20年度	2,709,753	1,431,774	2,285,196	65,570	242,861	8,331	5,311,713
H21年度	1,518,552	254,567	2,285,349	68,476	251,453	4,049	4,127,881
H22年度	1,740,697	595,972	2,382,717	71,095	267,030	2,701	4,464,243
H23年度	1,580,014	398,207	2,409,146	73,037	300,947	2,891	4,366,038
H24年度	1,716,691	416,976	2,449,633	76,365	301,840	2,853	4,547,384

(各年度の決算書収入済額：単位未満は切捨て)

歳出では、特に扶助費の伸びが止まりません。扶助費は国の施策の影響を顕著に受けるという性格を持っています。従って、自治体独自のサービスの導入に当たっては、事業の整理、いわゆるスクラップアンドビルドに徹底して取り組むことが重要となっています。

今後とも、地方自治法の趣旨を十分理解し、事務事業に当たっていただきたいと考えます。

歳入の状況では、町政運営の基本となる町税は、長引く経済不況の影響で法人町民税はわずかな伸びに留まっていますが、個人町民税は約10%の伸びを見せており、町税全体の徴収率も下落傾向から徐々に上昇に転じています。

決算書に係る計数は審査を行った範囲においては、正確であると認めました。予算の執行についても概ね良好に行われており、基金の運用管理についても特に問題点はなかったと判断しました。

事業会計の決算と、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく五つの健全化比率について、審査結果を報告します。



代表監査委員
大久保純一

一般会計、六つの特別会計並びに工業用水道

監査委員による決算審査報告

24年度 決算認定

総務

交通安全施設等の整備事業

505万円

カーブミラーの新設、更新、修理、停止線や徐行線等交通安全表示線の新設、維持管理を行う。



防犯灯設置及び管理事業

1588万円

夜間の犯罪を未然に防止し、町民の安全と福祉の向上を図るために防犯灯の設置及び維持管理を行う。



消防施設整備事業

2244万円

消防団が管理する消防ポンプ車1台、小型ポンプ積載車40台、小型動力ポンプ41台、防火水槽168基、消火栓322基及び防災無線子局70局、移動局58局の整備や維持管理、更新



総務委員会 レポート

大津町税条例の一部改正について

質問 年金特別徴収額を初めから6分の1にできないのか。

回答 年金特別徴収額については、6月の税額決定を受けて、仮徴収額と本徴収額で調整をする仕組みになっています。今回の改正は1回あたりの徴収額を6分の1に平準化させるための改正です。

一般会計補正

質問 まちおこし大学の見直しを行うための運営委員会3回分の会議開催予算について。

まちおこし大学の状況と学科生の応募についてはどうか。

回答 今年度は、「教育子育て学科」、「国際交流学科」、「地域おこし学科」の3つの学科を開設している。

「教育子育て学科」では、「こども・自然・命のつ

地域づくり活動支援事業

223万円



地域の一体感や日常生活での安心感を作りあげる事を目的として、地域住民が自分たちで取り組む地域活動に対する支援を行う。

人づくりまちづくり事業

69万円



住民が自主的に、まちづくりに積極的に参加する人材を育成する事を旨として平成20年4月から、大津まちおこし大学を開校している。

住基ネットワークシステム整備事業

498万円

住民基本台帳ネットワークシステムにより、地方公共団体共同のネットワーク化が図られ、全国の市町村で本人確認ができ、住民票の取得を可能にするシステムで法整備に伴う改修である。



総合窓口化の推進充実

1490万円

ワンストップサービスの推進
外国人住民に関する住民票コード付番、通知事務
住民満足度の調査
旅券発給事務
窓口混雑時期にフロアマネージャを配置。



ながり」をテーマに、リズム遊びや自然体験を通じた子供の発達や、心と命のつながりの大切さを学ぶことをねらいとしている。「国際交流学科」では、喜劇版「ロミオとジュリエット」を通じた異文化体験により、国の文化の違いを知ることができるという。国際的コミュニケーション能力を高めることも目指している。「地域おこし学科」では、フェイスブックを通じて、大津の魅力を発信することをテーマに、実際にフェイスブックを体験しながら情報を世界に発信することにより、大津町に親しみを持ってもらうことをねらいとしている。

応募については、町の広報紙などを通して学科生を募集しているが、現状は、年々応募される方が少なくなってきた。学科生の中には若い方の参加もあるが、今後、多くの方に参加して頂くためにはどうすれば良いかなど、運営委員会において検討をしていきたい。

経済建設

委員会レポート

一般会計補正

〔農政課〕

質問 ネットワーク大津の出資金について、通常の出資金には配当金があるが現時点で配当金について説明できるか。

回答 株式会社なので当然配当もありえるが、ネットワーク大津は地域農業を守るため、構成農家への利益還元を前提としている。現時点での配当は期待できないと考えている。

意見 今後、損益計算書などの経営に関する資料もそのつど確認し、株主としての管理監督責任を果たしていただきたい。

〔商業観光課〕

質問 全国展開支援事業と地域づくり夢チャレンジ推進事業との違いは何か。

回答 全国展開支援事業は国の補助事業であり、昨年に引き続き特産品開発事業、フットパス事業及びサッカー観戦事業の申請を行いました却不採択となった。地域づくり夢チャレンジ推進事業は

県の補助事業であり、フットパス事業を申請し採択された。



フットパス(円満寺)

質問 ごみ一時保管所(ごみステーション)の設置について何世帯がま

とまれば補助金を受けられるのか。また、歩道の上に設置してよいのか。

回答 補助金交付規則では「原則10世帯以上」が対象となっているが事情がある場合は相談に応じている。設置工事費の二分の一で限度額6万円が補助されるものである。

歩道への設置については、歩道が広く歩行者の通行等に支障がなければ、設置も可能だと考える。



ごみステーション

24年度決算認定

〔農政課〕

質問 青年就農給付金の給付対象者は、初めて農業に取り組む新規就農者なのかそれ以外でもよいのか。

回答 青年就農給付金は新規就農者に対する国の制度で農業の担い手確保を目的に平成24年度から開始されている。国の定めた要件を満たす45歳以下の新規就農者に対し、経営が安定するまで最長5年間、年間150万円を給付するものである。

親元就農者も地域の大切な担い手であることから、国に対し給付範囲の拡大や要件緩和を要望している。

〔商業観光課〕

質問 明日の観光大津を創る会への1000万円の補助金について、からいもフェスティバルは中止になっているが必要だったのか。

回答 からいもフェスティバルは荒天により当日の朝に中止を決定した為、準備が完了した状態

での中止であり、開催した場合と変わらない経費が必要であった。

意見 補助団体の経費の繰越しに関しては、年度末に清算し、不用額については戻入れを行い、適正な会計処理に努めていただきたい。



からいもフェスティバル



〔環境保全課〕

質問 資源物の有料ごみ袋を見直す考えはないか。また再生資源集団回収と一般の回収処理の効果の比較はどうなっているか。

回答 有料ごみ袋は分別意識が高まる他、ごみの減量化の推進にもつながると考える。

再生資源集団回収の効果については、平成24年度の再生資源集団回収実績分を菊池環境保全組合で

処理した場合、約5900万円の経費が必要になるが、再生資源集団回収助成金は約549万円となり、ごみ袋の作成費用をあわせても、再生資源集団回収補助事業は効果的な事業である。

工業用水道 決算認定

〔工業用水道課〕

質問 利益計上しているのはいが、今後設備更新計画も含め、その使途については十分検討しながら進めていくべきではないか。

回答 供給先企業の動向を注視しながら、メンテナンス計画を含めた事業運営計画を慎重に進めていく。



24年度 決算審査 経済建設

工業用水道事業

4841万円

熊本中核工業団地内の企業（9社）に対して工場等で使用する水を供給している。（日量4,000m³）



総合交流ターミナル改修事業

5734万円

開館後15年を経過し、老朽化が進んだ施設設備の計画的改修を行い町内外の住民の福祉と健康増進を図る。



町有林保育事業

2950万円

町内の全森林面積の約10%を占める町有林の適切な維持管理（造林、下刈、間伐、枝打等）を行う。



町立公園等管理委託事業

4661万円

利用者が気持ちよく公園を利用できるよう町立公園等の除草、植栽の剪定や清掃を行う事業。



公共下水道事業

1億6176万円

下水処理場、汚水中継ポンプ場の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。



町道管理事業

3945万円

生活道路・通学路として安全に通行できる状態を維持する。



都市計画道路駅前楽善線改良事業

2億5042万円

町の中心市街地を南北に結ぶ基幹的道路である駅前楽善線の整備を行う。



ビジターセンター運営管理事業

1260万円

待合交流スペースでは交通の案内、町内の飲食・宿泊施設や観光施設の案内、町内の特産物等のPRも行っている。



補正予算

文教厚生

学校給食センター 調理場空調機整備事業

1350万円

調理場に空調機を設置し、食品衛生環境及び調理員の労働環境を改善する。



学校給食センター

大津中央公園 防犯カメラ設置

200万円

録画機能を備えた防犯カメラを3台設置し、公園内の防犯上の安全性を確保する。

24年度 決算認定

国民健康保険健診事業（人間ドック）

1510万円

大津町国民健康保険者の疾病の早期発見・早期治療を図り、もって被保険者の健康管理に寄与するとともに、医療費の抑制を目的とする。

保育所運営費

7億4320万円
（うち一般財源2億330万円）

国が定める保育単価に基づき、大津町の児童が入所する保育所に保育所運営費を支出する。



大津幼稚園運動会

家庭的保育改修 等事業補助金

200万円

家庭的保育事業のために自宅等を改修する者に補助金を交付し、保育所入所待機児童の解消を図る。



おひさま保育室

委員会レポート

文教厚生

一般会計補正

福祉部健康福祉課

質問 子育て・健診センターの防犯カメラ3台の設置について、可動式の1台で十分ではないか。また、何故補正での計上なのか。

回答 1台では確認できない場所が生じることなどから、3台設置とした。設置時期について、当初は翌年度で考えていたが、度重なるトイレの破損被害などを大津警察署と協

議した結果、早期設置が望ましいと判断した。

子育て支援課

質問 保育士等処遇改善臨時特例事業について、本年度までの時限的な事業だが、これをどう恒常化して保育士等の処遇改善を図っていくのか。

回答 申請する保育園は処遇改善の計画書を作成し、職員に周知することとなっているので、それによって処遇改善が図れると考えている。

質問 この事業は、非常勤職員も対象になっているか。また、保育士だけではなく、家庭的保育士の処遇も改善すべきではないか。

回答 私立保育園の職員が対象であり、その中で非常勤職員も対象となる。処遇改善が私立保育園で行われれば、公立の保育士、家庭的保育士についても、処遇改善が図られるようになると考えている。

教育部学校教育課 学校給食センター

質問 今回1350万円でエアコンを整備予定の給食センターについては、建替が必要との話もある。設置してすぐに建替えとなれば費用対効果の面で疑問が残るが建替えの時期をしっかりと考慮しての予算計上なのか。

回答 能力・規模等を、十分に勘案して検討しており、10年程度は活用したいと考えている。

平成24年度 決算認定

福祉部健康福祉課

質問 検診事業について、目標値に対して実績が低い今後どのように考えているか。

回答 大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診については、節目検診として対象者となる年齢の住民に、無料クーポン券を発行して受診を勧奨している。今年度は受診率を上げるため、健診対象



子育て・健診センター

となる住民に、健診時期に合わせて個人通知を行った。昨年同時期の健診受診者と比べ、多くの住民が受診した。今後も個人通知を実施していきたい。

福祉部保険医療課

質問 タクシーを利用可能な高齢者の外出支援券の支給において、年金の収入額等、経済的な観点が含まれていないのか。

回答 現時点では含まれていないので、見直しを検討している。課税世帯か非課税世帯かの別など、平成25年度中に基準を見直したい。

教育部学校教育課

質問 学校施設へのエアコンの導入を急ぐべきである。中学校は来年度の整備ということだが、小学校・幼稚園に関する基本的な考えは。

回答 中学校については、来年度に着工したい。ただし、国庫補助の手続き上、6月以降の発注になる見込みのため、夏休み中の施工となる公算が強い。ただし、工事が可能であれば特別教室への整備は夏休み前に取り組みたい。陣内幼稚園はリズム室増築に併せ、全室にエアコンの整備を計画したい。大津幼稚園は、陣内幼稚園に遅れをとらないようなるべく早く整備したい。小学校については、老朽化した校舎もあり、一つ一つの調査が必要になってくるが、こちらについても、なるべく早く整備したい。

教育部生涯学習課

質問 社会教育指導員2人の活動内容の詳細は。



大津町立図書館

回答 2人のうち1人が文化財関係を担当している。社会教育主事の免許を持つというもう1人が文化財を除く生涯学習全般を担当しており、生涯学習事業計画全般への指導助言もしてもらっている。

質問 図書館運営において、ボランティアの協力が多大であるが、それに対してどのような支援をしているか。

回答 読み聞かせのための研修や、ボランティアのための先進地研修などを実施している。

8月9日 臨時会を開会 両議案・全員賛成で可決

(議案第48号)

都市計画道路駅前楽善線 道路改良工事(5工区)

請負契約の締結について

- 1、工事名く都市計画道路駅前楽善線道路改良工事(5工区)
- 2、工事場所く大津町大字大津地内
- 3、契約金額く7560万円(競争入札者は7社、入札書比較価格に対する入札比率97・79%で落札)
- 4、契約の相手方く肥後木村、岩下建設工事共同企業体、代表、大津町大字大林310番地、肥後木村組株式会社 代表取締役 澤村奈古
- 5、契約の方法く大津町公共工事請負契約約款による。

工期く議会議決承認を経、

町長が契約を成立させる旨、意思表示を通知した日の翌日から平成26年3月10日迄



工事路線地図



都市計画道路駅前楽善線(楽善交差点付近)

(議案第49号)

救助資機材搭載車両購入について 「車両の購入概要と理由」

大規模災害発生時に地域防災の要と幅広い災害活動に対応できる消防団が求められるなか様々な活動に活用できる車両として配備するものです。

- 1、備品名く救助資機材搭載車両(AT、四輪駆動車(3人乗)他、搭載用資機材)
- 2、納入場所く大津町地内
- 3、購入金額く1911万円(6社による入札、入札書比較価格に対する入札比率99・01%)
- 4、購入相手方く熊本市中央区菅原町1番25号、三輝物産株式会社、代表取締役 西銘生治
- 5、購入の方法く大津町財務規則による。

納期く議会議決承認を経、町長が契約を成立させる旨の意思表示を通知した日の翌日から平成25年12月25日迄。



購入予定の同型車

救助資機材搭載車両イメージ

平成25年 9 月 第 5 回大津町議会定例会 議決一覧表

議案番号	件 名	審査経緯	議 決
議案第50号	大津町子ども・子育て会議条例の制定について	全員賛成	可決
議案第52号	大津町税条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第53号	大津町国民健康保険税条例の一部改正について	〃	〃
議案第54号	大津町公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結について	〃	〃
議案第55号	平成25年度大津町一般会計補正予算について	〃	〃
議案第56号	平成25年度大津町国民健康保険特別会計補正予算について	〃	〃
議案第57号	平成25年度大津町公共下水道特別会計補正予算について	〃	〃
議案第58号	平成25年度大津町介護保険特別会計補正予算について	〃	〃
議案第59号	平成25年度大津町農業集落排水特別会計補正予算について	〃	〃
議案第60号	平成25年度大津町後期高齢者医療特別会計補正予算について	〃	〃
議案第61号	平成25年度大津町工業用水事業会計補正予算について	〃	〃
認定第1号	平成24年度大津町一般会計	賛成多数	認定
認定第3号	平成24年度大津町外四ヶ市町村共有財産管理処分事務受託特別会計	全員賛成	〃
認定第4号	平成24年度大津町公共下水道特別会計歳入・歳出決算の認定	〃	〃
認定第6号	平成24年度大津町農業集落排水特別会計決算の認定	〃	〃
認定第8号	平成24年度大津町工業用水事業会計利益の処分および決算の認定	〃	〃

(議案抜粋)

議案 (抜粋)・陳情	議員名	大塚龍一郎	手嶋靖隆	荒木俊彦	津田桂伸	永田和彦	坂本典光	源川貞夫	吉永弘則	府内隆博	本田省生	山本重光	桐原則雄	松田純子	佐藤真二	豊瀬和久	金田英樹	賛成(○)	反対(●)	結果
議案第63号 生涯学習センター太陽光発電設備設置他工事請負契約の締結について		—	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	12	3	可決
議案第64号 運動公園太陽光発電設備等設置工事請負契約の締結について		—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	可決
認定第5号 平成24年度大津町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	13	2	可決
認定第7号 平成24年度大津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	可決
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める		—	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	14	不採択

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める

●趣旨

多くの国民は「景気回復」を実感しておらず、雇用情勢や個人消費も厳しい状況にあります。この不況下で税率を引き上げれば、国民の消費はさらに落ち込み、自治体内の地域経済は大打撃を受けます。住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税を中止することを強く求めます。

不採択

●受理番号 平成25年8月23日 陳情第一号 ●付託年月日 平成25年9月6日

陳情者 大津町大津 元島弘明

※審議詳細については、議事録をごらん下さい。(12月中旬に大津町ホームページに掲載されます)

町政を問う

一般質問
11議員



豊瀬 和久議員

町の施設に公衆無線LANスポット (無料Wi-Fi)を設置してはどうか！

町長／まず、まちづくり交流センターに
設置する

町民が利用する図書館、役場のロビー、その他大勢の人が集まる施設に無料で利用できる公衆無線LANスポットを設置してはどうか。外国人観光客にも喜ばれ、旅行者を呼び込める。

家入町長

無料Wi-Fiは、町民の利便性向上や大規模イベントにおける通信手段の確保、災害時の情報発信手段としての利用や、外国人観光客から見た町の魅力向上に繋がる。その中で、県が空の玄関口として大津町ビクターセンターに設置する。町の魅力を発信する絶好の機会ととらえ、情報発信、観光の振興、地域コミュニケーション、防災を観点に、この新しい情報発信技術を活用していく。

防災士の資格取得に 助成金を！

町長／次年度から取り組みたい

地域における自主防災組織も推進されているが、まだまだ十分ではない。多くの自治体で防災士資格取得のための助成を行っている。大津町でも人材育成の観点からも助成をして多くの防災士に誕生していただきたいと思う。

家入町長

地域の防災力をいかに向上させるか、自分の身は自分で守る、自分たちの住む地域は自分たちで守る。そういう取り組みが、これからの安心・安全のまちづくりの要であると感じている。地域を良く知っている身近な人が、災害発生の初動対応において、迅速に行う

防災無線で放送する内容を防災 メールで配信してはどうか！

町長／導入に向け検討をしていく

防災無線が聞こえないとの苦情を聞く。地形や気象状況によっては聞き取りにくかったり、聞き逃す場合もある。また難聴の方もおられるので、防災放送の内容をメールで配信できないのか。



気象注意情報メール

今後、メール配信を運営する事業者から詳細な情報を入手して、導入に

岩尾総務部長

家入町長

災害時の緊急情報伝達の手段としては、携帯電話のエリアメールを活用することや、一部の地域で導入している地域コミュニティ無線の拡大も図っていききたいと思う。

家入町長

実施に向けて検討していききたい。

その他の質問

- ① ミストシャワーの設置について
- ② 仮ナンバープレート の取り扱いについて

向けた検討をしていく。

図書館で読まれる雑誌に有料 広告を募集してはどうか！

町長／実施に向けて検討していきたい

図書館内で読まれる雑誌の最新号は広告媒体として非常に有効ではないか。



桐原 則雄議員

ふるさと納税を活用し、「おもてなしの心」で大津大好き応援団を増やせ

町長／ふるさと納税と連携し、活力あるまちづくりや観光と地産地消のPRを強化

①ふるさと納税を活用し、町を愛し、ふるさとが発展することを望む関東、関西、九州や県内の町出身者の大津大好き応援団を大いに増やし、収入確保や地域づくりに活用する考えはないか。

②TPP問題や物価上昇等で、農林業や商業関係は、大変厳しい。ふるさと納税の応援者や消費者を巻き込んで、観光PRや地産地消等の取り組みを強化する考えはないか。

家入町長

①ふるさと納税は、財源確保に有効な手段。大津大好き応援団を増やす取り組みを積極的に進める。
②ふるさと納税と連携し、観光や地産地消のPRに大いに活用し、活力あるまちづくりを進める。

那須教育長

将来の大津町を担う子どもたちが、健康で元氣よく成長するために、食育は大切。学校、地域、家庭を巻き込んだ食育推進や地産地消を、どのように進めるのか。

各学校と給食センターの栄養教諭等が連携して食育推進を実施している。今後、農産物の生産体験などを含め、学校、地域、家庭と一体となって食育の大切さや地産地消を、更に推進する。



お礼に、ふるさとを感じる町の特産品

給食センターの老朽化に伴う全体的な整備対策は

町長／将来を見通し、早急に検討

給食センターは、整備後23年が過ぎ老朽化している。今後の児童数の増加や地産地消への対応を含め、全体的な整備計画はどうなっているのか。

家入町長

子どもたちの健康対策と生徒数の増加に伴い施設の場所や規模を含めて、早急に検討する。

幼稚園、小中学校にエアコン設置を急げ

教育長／中学校26年度、幼稚園、小学校も整備を検討

那須教育長

中学校は、26年度に実施予定、陣内幼稚園は、25年度検討、大津幼稚園も急ぎたい。小学校も計画的に整備していく。

子どもたちの健康管理や勉強への集中力を充実させるため、幼稚園や小学校エアコン整備は、どうなっているのか。



地域の皆さんと仲良く給食交流（南小）

教育施設の全体改修整備を早急に

町長／計画的な学校環境整備を推進
教育長／補助金を活用して総合的に対応

家入町長

補助金等を活用し、計画的な学校環境整備に取り組んでいく。

那須教育長

施設維持改修計画と財政を考慮し、補助金等を活用し、取り組んでいく。

南小学校に、学童保育施設整備を

教育長／空き教室の活用を検討

大津南小学校の学童保育施設の整備を強く望む声があるが、今後の計画は、どうなっているのか。

那須教育長

現在、利用中の保育園や学校とも協議し、学校敷地内や空き教室の活用も含めて検討する。

運動公園の更新について

町長／これまで以上にPRし、有効活用していく



永田 和彦議員



大津町運動公園

家入町長
ホームページにおいて運動公園は常にアクセ

運動公園は県下でもトップクラスのサッカー場を有しており、今後も有効活用が期待できるが、視点を変えれば他の市町村は大津町に追いつけ追い越せなのである。今後その地位を不動にするには時代のトレンドを見逃してはいけないし有識者の意見も重要で、人工芝の要望が多く聞かれる。時代の流れを読み解き、必要となる更新をして町の財産価値を増幅しなければならぬ。

ランキング上位にあり、町民の利用はもとより全国各地から大会などで多くの方々が来町され、スポーツ観光大津町の顔となっている。公園をこれまで以上にPRし、有効に活用していくには、経年劣化してきている天然芝の張り替えや競技場スタンドの雨漏り、総合体育館アリーナ空調設備など、計画的な改修と、急速に普及している人工芝への対応が重要と考える。費用対効果や利用効果などの可能性や有効性を精査しながら取り組んで行く。

公衆トイレについて

町長／トイレについての認識をもち、整備推進を図る

トイレの力は偉大で、

歩いていける場所に在る事により高齢者の方々の外出が多くなり、地域経済も潤うし健康維持にもつながる。しかしながら現状は数も少なく、様々な施設にあるトイレも老朽化や基本の設計が悪く、機能不全や悪臭が充満しているなど問題が多くよせられる。そこで町民や使用者からの意見を取り入れ、それを反映させた清潔なトイレのある町としたい。小学生の頃、先生曰く「その家の便所を見れば中身がわかる」と言われたことを思い出す。公衆トイレは町の中身を映し出すのである。

家入町長

きれいなトイレというのは本当に気持ち良いもので一日の出発点でもある。町民の方はもとより来訪者の方々も、町が管理する各トイレを気持ち良く使っていた、だ、くことが重要で、町を好きになつていただくには欠かせないと認識をしている。今回、駅前楽善線の上井手の所に観光ルート

の一つとしてのトイレをつくらうと指示をしている。ご指摘の通り、優良トイレみたいな形でピシッとつくり、またその前には手長会所の門もつくるので、話題性のあるトイレをつくることも、町民各位や観光客等の皆さんにも喜んでいただけたらと思う。



中央公園のトイレ



手嶋 靖隆議員

阿蘇の玄関口国道57号線沿いに道の駅として、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能を併せもつ公共道路施設としてスタートして20年を経過。今や全国に1005駅と定着し東日本大震災時には防災面で全国ネットとして役割が再認識され、自然災害時の緊急避難場所と食料品の調達機能を果たしていると聞く。更に地域災害の歴史や、地誌、風土を知る「学びの場」にしたいと提案されていると共に道路利用者や地域社会の多様な需要、創

意工夫が、うかがわれて共感の輪を広げようと新たな試みが道の駅、再生に動き始め郷土に生きる絆の大切さが再認識されてきた。本町においても、第三セクターの自治体として関わりを大切にするためにも、構内に2棟の建物（元ビール工場、ふれあい館へガラス工房）が今だに休館となっている現状を踏まえて本町の防災上の拠点及び備蓄庫として活用するなど自治体の関わる役割を再認識し防災拠点の構築と地域振興連携強化の一元化のため一考を要すると思うが、町長の所見を伺いたい。

熊本文化の森、道の駅の活性化を図るためにも防災の拠点としての行政の関わりを町長／国と共に防災の拠点づくりと地産地消の取り組みに努めたい

家人町長

道の駅の防災拠点化は、国交省が進めているが、大津道の駅は、阿蘇方面を始め国道57号の拠点として、防災の役割は非常に重要であると認識している。しかし、提案の2棟の建物は、国の備蓄庫としては狭く、新たに整備する場合は、公共用地に建設したいとのことである。また、トイレの改修なども費用面で、進んでいないが、防災上での必要性は、国交省も認識しているため、十分相談しながら進めていく。活性化、地産地消については現在、矢護川グループで湧水米として直売されているが、地産関連の品物が耕作者から出店、品揃えが必要と考えている。販売関係の景気運営については、良好に推移して

いるが、ガラス工房や地ビール関係で投資して借金が嵩んでおり経営は今の段階では厳しい状況である。今後は、地産地消を始めとする地元の製品を出店し、地元の人が足を運んでいただけるような道の駅に努力したい。



熊本文化の森 道の駅

今は時の流れが一変したかのように塘町筋を偲ぶ散策通りとして整備され、やすらぎの場も設けられ憩いの空間も造設されたが、一昨年から県営かんがい排水事業において上井手右岸日向側の傾斜の整備が進められ、明るい景観になったが、反面、全体的に殺風景で宿場町としての情緒に乏しい光景であり、よって、井手沿の緑化の一端として水の流れ、石橋に護岸等の一体化した景観形成の調和が大事と思うので関係機関、土地所有との協力合意にて事業完了後の右岸沿いに紅葉の植栽を行い、紅葉ロードを設けることにより宿場町筋としての立体感のもてる価値観の創出を図る街づくりの考えはないか所見を伺う。

家人町長

県営かんがい排水事業では、農地水路としての用水の確保及び防災減災を目的とした整備を行いました。当面防災を最優先に整備を進めた。今回、駅前楽善線道路整備や塘町筋の空地スペース等にポケットパークを整備するなど散策コースとしての景観整備に努める。

大塚経済部長

散策コースとして石橋など観光資源を有しておりますので上井手沿いの景観整備として光尊寺下流のガードパイプ約60mを上、下流と同様に改修し景観の統一を図る予定である。

宿場町としての景観形成について

町長／駅前楽善線整備と平行し、景観整備に努める



塘町筋 石橋と上井手

保育所が少ない・足りない直ちに整備を

町長／新設保育園を含めて進める



荒木 俊彦議員



大津保育園

保育所が足りない 近隣市町との比較

H24年	未就学児人数		保育所数	定員
市町村名	大津町	合志市	菊陽町	益城市
人口	32,397	56,633	39,041	32,987
未就学児人数	2,380	4,139	3,030	2,071
人口比	7.3%	7.3%	7.8%	6.3%
保育所数	7園	18園	13園	8園
定員	860人	1,770人	1,190人	785人
1園当り定員	123	98	92	98
定員入所率	36%	43%	39%	36%
定員入所率＝保育所定員÷未就学児人数				
合志市なみの43%の入所率だと1,023人の定員が必要になる。				

※幼稚園はこの表には入っていません

国が27年度から認定こども園関連等の法整備を進めているが、いずれにせよ保育所が不足するのは確かである。

新たな保育所整備に民間活用でできるかどうかというようなことも検討しなくてはならない。町内私立保育園長と、課題事項について相談をしている。民間園の経営状況等も十分考慮し、園の意

見を聞きながら進めたい。町立保育園も大変狭くて厳しい状況である。今後について大津保育園の縮小方針の基、新しい園をつくる方向で進めていきたい。

家人町長

待機児童解消は「児童福祉法第24条」で自治体にその責任がある。保育所が少ない。大津町の保育所は、近隣自治体と比較しても非常に少ない。現在、大津町は7園、益城市は8園、菊陽町は13園、合志市は18園である。

1園当たり定員は120人で他市町は全部90人。大津町では、2千380人の児童数に対して保育所定員は36%である。近隣市町で大津町は最低であり、合志市の43%

台である。さらに120%まで定員を増やしてすし詰め状態と言わざるを得ない。保育所が足りない。未就学児童数に対して保育所がどれだけあるか、定員入所率を調べてみた。大津町では、2千380人の児童数に対して保育所定員は36%である。近隣市町で大津町は最低であり、合志市の43%

近隣自治体との保育料比較

24年度 3歳以上

階層	3歳以上	大津町	合志市	菊池市	熊本市
2	世帯の住民税 非課税	6,000	5,000	5,000	3,000
3	均等割	11,000	10,000	10,000	8,200
4	所得割	14,000	11,000	12,000	8,200
5	7,000円未満	18,000	15,000	15,000	12,500
6	～4万円未満	23,000	22,000	21,000	22,000
7	～6.3万円未満	26,000	27,000	26,000	29,000
8	～10.3万円未満	27,000	27,000	26,000	29,000
9	～41.3万円未満	27,000	29,000	26,000	30,000
10	～73.4万円未満	27,000	30,000	26,000	32,000
11	～73.4万円以上	30,000	32,000	26,000	32,000

※大津町と菊陽町はほぼ同額となっています

高い保育料引き下げを

町長／現状維持で

大津町の保育料金は高すぎる。近隣自治体、合志市、菊池市、熊本市と比較してみたが、収入の少ない世帯ほど相対的に町の保育料金が高い。この10年間で平均年収で70万円ほど労働者の賃金下がっている。引き下げ改善をする気があるか。

家人町長

平成19年度に保育料の改定減額して以来5年が経過した。年々増加する保育所への負担額や、その他の扶助費を含め増加の傾向であり、慎重に取り組まなければならないと、町の監査報告にもある。

隣の菊陽町とはほとんど差がなく、現状維持を考えている。



佐藤 真二議員

小学校図書室司書配置の充実を

教育長／対策を校長等と相談して工夫していききたい

学校の図書室は子どもの学習や心の成長に大切な役割を果たす。しかし小学校の図書室は、放課後に開いていないところがある。非常勤の司書・司書補の勤務時間が5時間45分以内であるためと聞く。

那須教育長

小学校の図書の貸出数は全国の読書冊数平均を下回っておりまだ伸びしろがあると考えられる。司書・司書補の常勤化は難しいかもしれないが、学校支援ボランティアの活用などで放課後も図書室を開けることで子ども



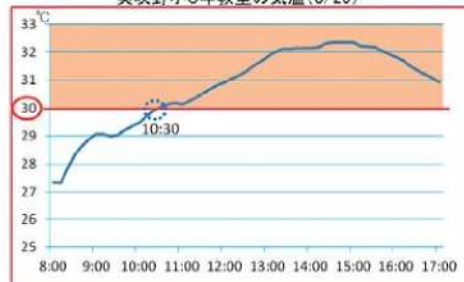
教室へのエアコン設置 今後のスケジュールは？

教育長／年次を定め予算要求する
町長／公共施設全体の見直し計画と切り離して検討する

間帯のシフトなど、工夫していききたい。また学校側が希望すれば、学校支援ボランティアに来ていただく余地もあると考える。

学校環境衛生基準では教室の温度は10度以上30度以下が望ましい、児童生徒に生理的・心理的に負担をかけない学習に望ましい環境は、冬季で18℃20度、夏季では25℃28℃

美咲野小6年教室の気温(8/29)



度程度となっている。

サンプル調査として美咲野小学校で8月29日に教室の気温を測定したところ、午前10時半には30度を超え夕方までそれが続いていた。

教室へのエアコン設置について、先の同僚議員の質問に対する答弁では「幼稚園は今年度中にできる限り、小学校は来年度中」ということだった。

しかし、「できるだけ早く」とは言ってもそれは、町の公共施設全体の見直し計画の中で検討するということで実際の計画があるわけでも約束さ

れたものでもなく、それとは切り離して考えるべきだ。

町は「有利な補助金」を期待しているようだが地域の元氣臨時交付金を使うこともできたはずでこれまで計画を送りしてきたことが問題だ。

教室のエアコンの問題は既に「学習環境」の問題ではなく、子どもや先生方の健康、学校の安全の問題となっている。

この先、どのように計画をスピードアップさせて進めて行くか。

那須教育長

学校を訪問して、先生方も子どもたちも暑さに耐えながら、懸命に学んでいる姿を見ると、環境を改善してあげたいという強い思いはある。

これまで学校全体の老朽化対策と合わせて考えたほうが財政的にもよいと考え先延ばししてきた経緯もあり、計画の遅れを指摘されてもやむを得ない。

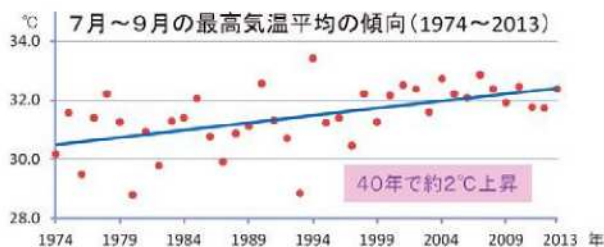
しかし、今年のような猛暑は、健康安全上、学

習上、確かに問題があると思う。

幼稚園・中学校に続き小学校でも27年度に設置できるよう、町長の査定に期待して、委員会として予算要求する。

家人町長

教育長の学校現場としての立場からの意見、また指摘のとおり、子どもたちと先生方の健康を考え、学校全体の施設の見直し計画とは切り離して考える。



公園のトイレ

町長／計画的に維持管理



坂本 典光議員

大津町には都市公園が11と町立公園が7つあり、公園管理に毎年4000万から5000万円が使われている。設置されたトイレの維持管理が十分でなく、年々すぼらしくなっていく。

①木製の外壁の傷みが激しい。認識しているのか。いつ補修するのか。このまま放っておくのか。

家入町長

①自分で見て回ったが、トイレの壁が傷んでいるのは確かである。

②子どもは洋式トイレ形式の「おまる」を使っている。高齢者にとって洋式トイレは膝に負担がかららない。

③は経済部長が答える。

④今まで町は国が進める新規の補助対象事業を優先的にやってきた。施設の維持管理は補助金が付かず町単独のお金を使わ

②便器はほとんどが和式である。洋式の方が高齢者に優しい。大津町には外国人も多い。洋式に替えるつもりはないか。

③昭和園、杉水公園では男女トイレの区分が不十分である。間に目隠しが必要だと思うが、対策するつもりはあるか。

④以上のような問題は以前から苦情が寄せられていたと思うが、今まで対策が取られなかったのはなぜか。予算が足りないのか。国の予算制度（補助金支給方式）に問題があるのか。



清正公道公園のいちばん東にあるトイレ。
大津の水車の模型がある。



昭和園・杉水公園のトイレ
男・女入り口は別になっているが中に入ると同じ空間中に目隠しが必要



今にも瓦が落ちそう！

家入町長

消防団の分団や班または地区では自分の地区に

空家、および危険な家屋の調査、対策について

町長／現況を調べる

①大津町で古くなったりして崩れかかり、人に危険を及ぼしそうな家屋および小屋は何件あるか把握しているか。危険と判断した時、持ち主に改善勧告しているか。たとえば大津郵便局近隣で瓦が落ちそうな建物も存在している。

②だれも管理していないような空家は火災の心配もあり、防災上好ましくない。そういう家屋が何件あるか把握しているか。

③調べてないなら①、②とも町で調査してみるべきではないか。

ほかに一人暮らし高齢者の日常連絡は万全かという質問がありました。

ある危険な家屋、小屋についてある程度把握されていると思う。全町的には調査はしていないが今後調査するつもりである。また空家についても実態が把握できていない。区長さん、民生委員さんにご協力願いたがらずには実態調査から始めたい。ご指摘の民家の持ち主は町外にお住まいとのことだが、近い将来その家を解体する計画があるという話を聞いた。さっそく先方と話してみたい。



松田 純子議員

消防団加入を促す環境整備の取組みについて

町長／現在の人員を維持し充実したい

地区の必要人員の配分報酬の適正化、負担金の均一化などの問題点を整理し、分団構成についての再構築を図る必要はないか。現状の問題点をどのように捉えているか。

家入町長

県菊池広域連合消防本部との連携により、現在の消防団員数で総合防災力の中核として活動している。現状の人員を維持し消防力の強化・充実にさらに努めたい。課題として企業から団員が出動しやすい環境を配慮していただけるように現在も継続して協力を依頼している。

岩尾総務部長

町の消防団員数は昭和31年8月、5村合併時点で28分団、1090名で発足。後41年4月に8分団45班630名に改正され、現在も実団員数は630名。会社員524名、自営業23名、家族従事者62名、他21名となっている。企業勤めの団員が多いので出動の場合には活

防災リーダー育成について問う

町長／地域防災リーダーは必要



女性消防団操法練習風景

動しやすい環境づくりを企業に依頼している。その他の要望は毎月行われている幹部会議で検討されている。

女性センター設立について問う

町長／女性が集まれる施設は必要

男女共同参画都市の構築のために、女性が子供連れで来れるスペース、パソコンなどを習うスペースなどを設けた女性交流できる施設をつくれないうか。

家入町長

女性が気軽に集い、交流し、情報の収集や発信

地域の防災活動の要となる防災リーダー育成は必要と考えるが、現在、大津町には何人の防災士がいるか。また、活動についての町のサポートなどを問う。

家入町長

リーダー育成は必要不可欠と考えている。今後の取組みとしては、自主防災組織の設立や拡充を

の起点となる場、そして各種技能を取得できる様な場所が、必要と認識はしている。具体的にセンターの持つ機能はどのようなものか、またどのようなセンターが求められているのか、大津町女性の会をはじめ、関係団体から意見を聞き、考えていく。



男女共同参画懇話会会議

含め、自主防災活動支援事業等による資機材等の管理のあり方など、防災指導員による講習会実施や防災組織の普及および防災リーダー育成の推進を図るとともに地域コミュニティの強化を進め、地域内の連携強化につなげることで防災活動の活性化に努めたい。

岩尾総務部長

町が把握している防災

士は5名となっている。肥後大津防災クラブの設立が平成24年8月にあり、現在、防災士会員を含め17名で組織されている。本年6月に5名の防災士が防災フェア、災害等に関する写真や防災用品の展示、並びに防災相談を実施されるとともに日ごろから地域での、防災啓発活動をしておられる。

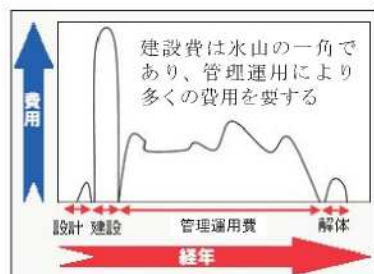


金田 英樹議員

公共施設（ハコモノ）の 戦略的整備・運営を

町長／次期振興総合計画策定時に合わせて策定する

町内の公共施設は、建設時には予算、機能等について様々な議論がなされる一方で、建設後の管理運用費用や施設機能改善に関する議論が少ないのが現状である。しかし、一般的に公共



施設は、建設費よりも建設後に発生する費用の方が高額であるため、建設にあたっては管理運用に要する費用も踏まえた中長期的な計画が必要である。また、建設後にも施設の利用データを分析しながら、機能改善を進め、場合によっては整理統合を行う必要もある。

その点を踏まえ、①「ライフサイクルコスト（建設から運用、解体等に至るまでの総費用）関連資料」、及び②「施設カルテ（施設概要、運営経費、利用状況、及び町民・利用者一人当たりのコスト等を一元的にまとめたデータ）」を整備し、それに基づいた戦略的な公共施設整備・運営をしていく考えはないか。

新設した公共施設の活用 状況と中長期的計画を

町長／今後も継続的に改善を進めていく

家入町長

ライフサイクルコストを含めた施設カルテは、次期振興総合計画策定期（※）に合わせて策定したい。導入後のコスト削減・機能改善については、施設カルテに基づいて点検しながら、長期的視点に立って実施していきたい。また、施設カルテ整備前においても、十分なる資料を作りながら施設を整備・運営していく。

（※）現行のものは平成27年度まで

公共施設の中で、特にここ数年で新設されたビクターセンター、まちづくり交流センター、歴史文化伝承館について、現状と今後の計画について問う。

家入町長

交流センターとビクターセンターは、将来的には肥後大津観光協会に建物の管理関連を委託し、大津町の食文化をはじめとする交流、あるいは観光推進を行ってもらいたいと考えている。

歴史文化伝承館については、広報紙等で活用方法を分かり易く発信するとともに、来館者の声を取り入れながら展示物についても定期的に入れ替えを実施して、より住民に興味を持ってもらえるよう努力する。また、中央地域の活性化という形で、上井手関係の観光ルートを検討しているが、その動きとも連動させ、交流や町文化を知ってもらうための施設としたい。

自主防災組織の育成・ 支援体制強化を

町長／ソフト面の支援を強化していく

自主防災組織の新設・育成に関して、行政からは備品への補助金等の支援策は打ち出されているが、組織の整備・育成等のソフト面の方針や具体的計画が十分に示されていない。

このような地域の人材のみに任せる状況では、有事に機能する強固な自主防災組織体制の構築は進まない。実際に既存の自主防災組織の中で活発に活動している組織は少数であり、形骸化している組織も多いのが現状である。また、行政が各組織の活動実態を把握していない点も問題である。それらの点も踏まえ、次の4つの取り組みを行う考えはないか。

①自主防災組織設立・運営マニュアルの提供
②町内自主防災組織の取

り組み好事例の共有化
③機能別消防団の仕組み等を活かした消防団との連携強化（大規模災害時のみに活動する分団・女性消防分団）
④各組織の活動実態把握、行政との連携強化

家入町長

①各組織に県が作成している自主防災活動の手引きを提供する
②先進地区の状況を冊子にまとめ、共有化を図るとともに、自主防災組織連絡会を整備したい
③昼間の災害に対応するためにも課題の一つだと認識している
④行政として実態の把握を進め、自主防災組織連絡会を通して各組織との連携強化を



吉永 弘則議員

活力あるまちづくりと地方部の活性化を

町長／補助金を活用して地域づくり支援事業を推進していく

家人町長

地域のことは地域の方が自ら地域づくりに取り組むことが一番大切と思

本町の人口は年々増加し、今では3万3千人以上となり「元気なまち」とみられているが、それは中心部だけで、地方部では高齢化が進み寂しい状態となっている。施政方針では地域の元気を取り戻すことが課題であると言われている。今後中長期計画を立てて地方部の活性化に取り組んでほしい。地方にも観光資源等は数多くある。それを生かした観光ルート創りや人口対策としては地価の安い地方部に宅地造成等を促し、定住促進対策を講じて活力を与えてほしい。町道とインフラの整備も必要である。救急車や消防車が通れない町道等は再点検し優先順位を付けて整備してほしい。要するに地域の資源を生かした人づくり、施設づくり、活性化対策などの問題点を複合的に組み合わせることで成果を期待したい。

中山部長

宅地開発については直接民間事業者には土地の開発誘導を行うのは難しい現状である。生活道路については毎年多くの苦情や要望が出されるが予算面もあり危険性、通学路、緊急性、投資効果等を評価し優先順位を決めて計画的に整備したい。

う。地域計画づくりは住民を巻き込んで創ってきたい。地方の活性化で、圃場整備など、国や県の補助事業を活用し道路整備等に取り組んでいる。町道関連については、地区の区長さん達と十分相談しながらやっていく。宅地開発等については農地法や都市計画法の関係と利便性を考えると若者や住民は中心部を求めている。観光関係については江藤屋敷をはじめとする文化遺産、上井手下井手の観光ルート、立野ダムからの白川の観光ルート、陽の原キャンプ場から矢護川公園等を生かした一体的な自然開発等を観光ルートとして摸索している。



シルバー人材センターの仕事



地域づくり「大林の牛舞い」

元気な高齢者に 雇用の場づくりを

町長／シルバー人材センターを窓口としてニーズに応じて活用していく

家人町長

国も昨年雇用の安定に関する法律を一部改正し事業主に対し65歳までの雇用を義務づけている。又町レベルでは本町だけが無料職業紹介所を開設し雇用相談を行っている。

公務員、民間企業においても60歳定年が定着しているが、すぐには年金が支給されない。又年金だけでは生活できない等の事情で再就職、就業を求める高齢者は少なくない。町としても高齢者対策は重要な課題である。そこで就業を求めている町民がどの程度おられるのか、又事業主は退職準備援助措置を講ずべきと規定しているが、事業主に代わって町が措置し講座を開設するような考えがあるのか伺いたい。

中尾福祉部長

人材センターの24年度末会員は233人で契約金額は9千3百万円となり前年比で1千万円は増えている。今後高齢者からの相談に対しては日頃から広報紙等で情報の提供を行っていききたい。

しかし高齢者の求人は少なく雇用にはつながっていないのが現状である。大津町シルバー人材センターでは町内企業等からの受託業務の確保に努める希望に応じた就業の機会の確保に努めている。又シルバー人材センター連合会で各種技能講習等を実施しておりそちらの利用を紹介している。

中学生の自転車通学路の安全性について

町長／県と相談しながら安全性に努める



府内 隆博議員

大津町も企業誘致により本田技研をはじめとし、多くの工場ができ、朝夕は通勤者などで大渋滞が見られる。県道325号

線と大津バイパスから美咲野交差点、それから県道矢護川大津線の道路に車が渋滞しているようです。日本梱包運輸熊本営業所平川倉庫前の県道矢護川大津線から本田技研南道路線の交差点に横断歩道があるが、朝の通勤ラッシュに高校生や中学生の自転車で通学する生徒がなかなか横断ができない、危険を感じていると聞いている。通学路でもある。本田技研南通り線の交差点に押しボタン式信号機を設置できないか、保護者から強い要望がある。町の考えを聞きたい。

家人町長
交通安全教育の徹底やそれぞれの関係者の交通指導関連等によって町内の事業所を通してながら通勤帯の交通安全の取り組みの依頼も併せて必要ではないかと考えており、県にも要望しながら、中学生の交通安全性に努めていく。

那須教育長
日本梱包運輸倉庫前の交差点は道路が緩やかなS字カーブとなっており横断歩道手前で左右の自転車の確認が大変しく、危険であると感じた。学校教育課では学校と連携して生徒の自転車の正しい乗り方指導や交通マ



県道矢護川大津線の日本梱包前

新規就農者について

経済部長／青年就農給付金制度の周知徹底を図る

ナーの徹底を図り交通安全意識の高揚と安全行動の実践を促すよう推進していきたい。

新たに県内外から新規就農をされた農家に対して今後どのような支援を考えているか。地域の担い手にもなり空いている農地を借りることににより耕

大塚経済部長

国は平成24年度から就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため青年就農給付金制度を始めました。給付要件を満たせば最長5年間、年間150万円が給付されるものです。

松岡農業委員会事務局長

新たに農業を始めるとなると農地法等の関係があり地域と密接な関係が必要となる。いつ農地相

作放棄地の解消にもなるので農地の借り貸しの中間的受け皿に対応して欲しいと考えるが町の考えは。

対象は45歳未満となっており、このほか、農の雇用事業という制度もあり、農業法人等が正社員として雇った場合、最大120万円を最長2年間助成する制度であり45歳以下が対象者となっている。

談にいられても地域の代表である農業委員さんを通じて対応していきたいと考えている。



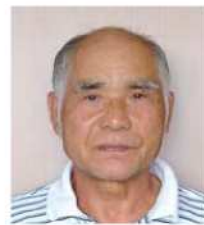
耕作地

町議会の傍聴には毎回参加している。9月議会では7名の一般質問を傍聴した。今回は菊陽町や菊池市の両議員が傍聴し、



松岡征一郎さん
(下町)

議会を 傍聴して



江嶋さん
(吹田)

議会の傍聴は、機会あるごとに行っていますが、その都度、町民の代表であります町議の方々のご

苦勞、行政の皆様方のご苦勞に感謝をしています。大津町に山積みする諸

問題を限られた予算で、適時適切に判断をし、処置するかを日夜、町長以下は検討・審議され、町

民が、安心・安全・快適に生活が出来る町づくり

に奮闘されている様子がうかがえて安心をしています。その施行には即効性を有する事項、また時間をかけ検討する事項

があると思います。特に人命に関する事項は、即

白熱した議論を期待したが、中には議論がかみ合わず、平行線のまま質疑が終了したのは誠に遺憾であった。

議員は事前に質問通告書を提出しているのだから、行政はそれなりの答弁書を携え議会に臨む。当然、議員も行政の答弁を想定し質問しているはずである。とすれば、再

質問の権利を有する議員は、もっと現場を検証し、入念な事前準備を重ねて想定答弁を越える回答を

実行をしてもらいたいと思います。私は肥後大津防災クラブの一員で、こ

とさら防災については興味があり、毎回各議員の方々が地域防災等について質問されています。

去年の7・12災害以降、私も含め町民の方々も防災について興味津々です。被災地の皆様が一日でも早く、安心・安全に生活

が出来るように行政の力添えをお願いします。

引き出す熱意を持たねば、行政の高い壁に阻まれるのは自明の理である。

議員報酬は毎月支給されている。議員は常時、行政の問題点や課題を掘り起こし、民意を議会に反映すべく真摯な努力を怠ってはなるまい。

最後に、議会選挙の投票率も大幅に下降した。議会の情報公開を進めるために休日議会や議会録画の公開など、早急に取り組むべき課題は多いと思われる。

7月4日、5日に委員と執行部、事務局で佐賀県みやき町と武雄市の2ヶ所で研修を行った。

平成25年度 議会運営委員会研修報告

まず、みやき町では、「議会運営全般」と「議会活性化の取り組み」について研修を行った。みやき町は平成17年3月に3町が合併し、人口約2万6千人で議員定数は18人である。常任委員会は3委員会に議会運営委員会、特別委員会は広報、議会改革、定住対策の3委員会、審議において

は本会議主義を採用しており、全協と常任委員会を月に1から2回開催しているとのこと。議会改革については、平成23年12月に特別委員会を設置し、全議員を委員として

月1回は委員会が開催されており、早急に改革を実施すべきもの(今期中)と今後の検討課題とするものとに項目が分けられている。

みやき町議会の議会改革については、大津町議

会と同レベルでの進行であるが委員会での審議回数はみやき町議会が非常に多い。今後大津町議会において具体的な取組み等を協議する中では、議員全員により十分な議論を行い実施していくことが必要である。

次に、武雄市においては、「フェイスブック」・「文字通訳瞬時ネット」・「議場モニターの活用」について研修を行った。

武雄市は、平成18年3月に武雄市と山内町、北方町が合併し、人口約5万1千人の小規模都市である。最近メディアに数多く取り上げられている市で、全国から年間200組を超える視察を受け入れており、視察の目的はほとんどが「行政におけるフェイスブックの活用」である。

市議会のIT化については、議会中継は30年の歴史があり市民の関心は高く、問い合わせや傍聴

者も多い。ケーブルテレビの放映、ユーチューブの配信も行われており、ケーブルテレビの加入率は92・8パーセントとなっている。

今年の6月定例会からは「文字通訳瞬時ネット」が導入され、映像と同時に発言が文字に反訳され同時放送されている。瞬時反訳のため誤字脱字はあらかじめ了解したくように周知しているとの事である。また、議場におけるモニター、パソコン、アイパッド等の使用を平成24年1月に議会改革特別委員会で検討し、

議運において決定され、3月議会から機器の使用を開始し、一般質問では16名中14名はモニターを活用。執行部の回答にも利用され、傍聴者及び放映画像を視聴された方からはわかりやすいとの意見が寄せられているとのこと、議場へのIT機器の持ち込みとモニターの利用については検討すべき課題ではないかと考える。

大津町議会だより No.66
平成25年11月1日発行

大津町の宝

上井手筋 大願寺～日吉神社・大津御倉跡 (石橋・参勤道)



日吉神社本殿



光尊寺の石橋



大願寺の石橋



日吉神社のつつじ園



大津御倉跡

江戸時代からの名刹の円通庵、西南の役のとき薩軍の司令部が置かれた大願寺（石橋）、光尊寺（石橋）を眺めながら鶴口橋までくると、かつて高札を立てた場所であり、地藏祭の起源となったお地藏さまが安置されている。

そのまま北に向かえば、かつて細川藩の五大米倉の一つ大津御倉跡がある。今は昔を偲ぶものではなく、記念碑だけがある。

日吉神社の参道を登れば北に本殿、南に斜面いっぱいのつつじ園がある。

表紙紹介

阿蘇くまもと空港地域おこし協議会（会長 宮本武夫氏）が、9月23日午後3時より、蒲島県知事をはじめ、家人町長他を招いてコスモス開花式を実施。咲き始めたコスモスの前で、式に参加した皆さんと記念撮影。空から10月いっぱい、ピンクの絨毯が眼下に広がる。

※大津方面からは県道325号を空港方面に上り白川の橋を越えカーブを曲がり終えた後、左折して熊本家畜市場を通過してしばらく行くと見えてきます。



❖傍聴に来てはいよ❖

議会、および委員会は役場4階にて記名すれば、どなたでも自由に傍聴できます。

次回の議会の会期予定

12月9日（月）～13日（金）

議会広報編集 特別委員会

委員長
手嶋 靖隆

副委員長
山本 重光

委員
松田 純子
豊瀬 和久
金田 英樹

発行責任者
議長：大塚龍一郎

編集後記

秋深まる季節となりました。9月定例町議会も有意義に終了し、ここに「議会、だより」をお届け致します。

町民の皆様様に、ご愛読頂けますよう、毎回5名が編集に当たっております。

また、一般質問の記事に関しては、議員自らが責任を持って編集しています。

「文は意を尽くさず」と言いますが、町議会の内容を、分かりやすくお知らせ出来そうです、これからわかりやすい「議会、だより」をお届けして参ります。

(豊瀬)



この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。